

## 令和5年度 第1回 大阪府立平野支援学校 学校運営協議会 議事録

大阪府立平野支援学校  
校長 川村 典子

日 時	令和5年6月7日（水） 10:00～12:00
場 所	大阪府立平野支援学校 図書室
参加者	中村 清一（委員） 濱野 すま子（委員） 市場 達朗（委員） 谷藤 誠宏（委員） 中野 淳子（委員） 松本 理香（委員） 川村 典子（校長） 丸田 公司（教頭） 長谷川 真哉（教頭） 中川 忠彦（事務長） 橋本 伸彦（首席） 橋本 万以子（首席） 玉井 実加（指導教諭） 日置 優介（小学部主事） 飯塚 恵子（中学部主事） 杉本 琢哉（高等部主事）
議題等	(1) 令和5年度 委員紹介 (2) 令和5年度 学校経営計画の確認 (3) 学校経営の進捗状況
協議内容	(3) 学校経営の進捗状況等について、担当教職員より報告を行った。
意見等の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育プロジェクトチーム（音楽療法の手法を用いた授業の見学を含む）に関する報告について、「学校の進化がとてもよくわかる。子どもたちの頑張りも素晴らしいが、先生方の頑張りがよくわかる。」との高評価を受けた。また、音楽療法の手法を用いた授業が行われていた教室（レストハウス）について、「普通教室とは違う音の響き方が印象的であった。」と関心が寄せられていた。</li> <li>・将来を見据えた自立活動の指導に関する報告について、「担任が変わっても、同じような摂食指導ができるようなシステムが構築されれば良いと感じる。言語聴覚士の指導やリハビリ見学をさらに有効活用してほしい。」との意見があった。</li> <li>・各学部からの現状報告について、「新型コロナウイルスの対応が徐々に減っていき、学校にコロナ前の日常が戻ってきていることを嬉しく感じる。改めて、学校生活の大切さを実感した。」と関心が寄せられていた。また、全体的に児童生徒数が減少傾向にあるとの報告を受けて、「何か要因があるのか。」との質問を受けた。「全体的に子どもの数が減っている現状はあるが、支援教育へのニーズが高まっているのも事実。大阪府は肢体不自由支援学校に進む児童生徒は減っているが、知的障がい支援学校はニーズが高い。障がいを持っている生徒の進路選択の幅が広がっている。」と回答した。</li> <li>・「高等部祭を軸とした全校的なキャリア教育の推進」に関する報告について、小学部児童や中学部生徒が客としての対応だけでなく、高等部祭に何らかの形で関わろうとする点に共感する。」と高い関心が寄せられた。</li> <li>・災害に関する危機管理の報告について、「避難訓練の実施回数は決まっているのか。電気の備蓄はどうしているのか。」との質問があった。「指定された実施回数はある。電気の備蓄については、ソーラーパネルの活用、エネポ（カセットボンベで動く発電機）3台を備蓄している。」と回答した。また、「個別の避難計画を策定する上での課題はどんなことが挙げられるか。」との質問があった。「通学途中で災害が起こった時の対応や、通学カバンに常備している緊急時薬等の保管が課題である。」と回答した。さらに、委員（隣接校校長）と「隣接校との災害時連携」についても、津波発生時等にも連携していくことで一致した。</li> </ul>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度 学校経営計画</li> <li>・令和5年度 学校要覧</li> </ul>
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傍聴者なし</li> <li>・第2回の開催については、11月中旬に開催予定（後日、日程調整）</li> </ul>